

第 62 回 東葛しぜん研修会

フィールド研修：谷田・武西

坂巻 真有美（白井市）

日 時：2012 年 4 月 10 日（火）10～14 時 天気：晴れ

場 所：谷田（白井市）

参加者：指導員 13 名

案内人：齋藤昭夫氏（原っぱの会）、担当指導員：青木 稔、坂巻真有美

私の住む千葉ニュータウンでは、様々な形の自然にふれることができます。東葛しぜん観察会が訪れるフィールドとしては、オオハクチョウの飛来する清水口調整池がありますし、都市近郊の里山として印西市結縁寺周辺をあげることができます。この白井市谷田・印西市武西は、北総線の開発途中で買収からのがれ、北総地域のなかでも‘樹林‘‘原っぱ‘‘湿地‘が手付かずのまま広くのこっている場所であり、この規模で存在している場所は他には見当たりません。この場所の保護活動には歴史がありますが、現在では、「谷田武西の原っぱと森の会」の会員の方が保護にあたっています。この周辺の土地は、民有地と企業庁の土地がモザイク状に配置しており、それゆえの活動の難しさを含んでいますが、会の方たちは白井市・千葉県とも協働して活動を続けています。

観察会には「原っぱの会」の理事として活動しており、千葉県自然観察指導員協議会の会員でもある齋藤さんに案内をお願いしました。ここには、昔「牧」であっただろう原っぱや、野馬土手・湧水やその湧水を支える樹林があり、特にその湧水は神崎川の水源になっています。暖かい日差しの中で原っぱを歩くと、タチツボスミレ・アカネスミレ・ニオイスマイレ・アマナ・シュンラン・クサボケが咲いて



いろいろな花が観られる観察場所

いて、その原っぱに季節が訪れると、フナバラソウ・スズサイコ・レンリソウ・オミナエシ・カセンソウなどが咲くということで、齋藤さんから写真をみせていただくと、指導員の間からは「ほーっ、」というため息がもれていました。午後は近くの船橋カントリークラブ内にある、「清戸の泉」の観察に行きました。ここは千葉県指定史跡となっており、今回観察会で訪れた「先神谷津」「沢山の泉」（もう 1 箇所「遠谷津」がある）と合わせて神崎川から新川を経て印旛沼へと流れており、印旛沼の水源のひとつにもなっている場所です。満開の桜の中、途中ではノウサギとも遭遇し、北総の原風景を残すゴルフ場をあとに観察会を終了しました。

今回は齋藤さんの案内のもと、厳選したルートで観察会を行ないましたが、もしご興味をもたれた方がおりましたら、一度「NPO 法人谷田武西の原っぱと森の会 メール：ym_harappa@yahoo. co. jp」まで連絡をいただいでから足をお運びください。